

2月26日の伊予灘の地震について

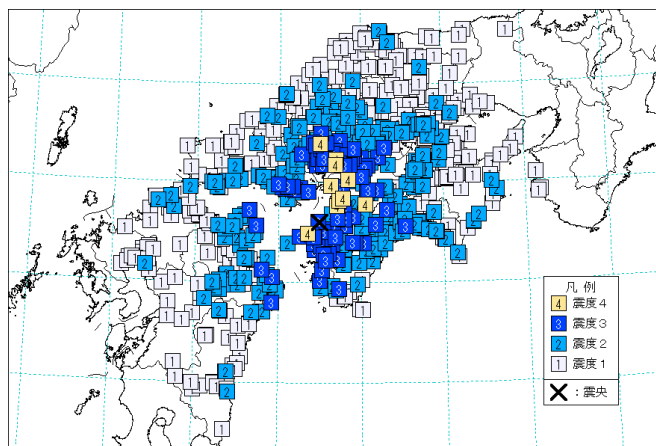


図1 観測点震度分布図 (×は震央)

※情報発表時の震央地名は【愛媛県南予】です。

26日15時24分、伊予灘の地震（深さ47km、M5.1）により、広島県呉市・府中町、愛媛県今治市・西条市・松山市・伊予市・松前町・伊方町で震度4を観測したほか、近畿・中国・四国・九州地方で震度3～1を観測しました（図1）。この地震はフィリピン海プレート内部で発生しました。この地震の発生後、29日15時までには震源付近で震度1以上の揺れを観測する地震は発生していません。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（図3の領域b）では、M4.0以上の地震が時々発生しています（図2・3・4）。今回の地震は、これらの地震のうちでは最大規模となっています。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（図5の領域c）では、M6.0以上の地震も複数発生しています。このうち「平成13年（2001年）芸予地震」（M6.7）では、死者2人、負傷者288人、住家全壊70棟などの被害が生じた（被害は総務省消防庁による）。

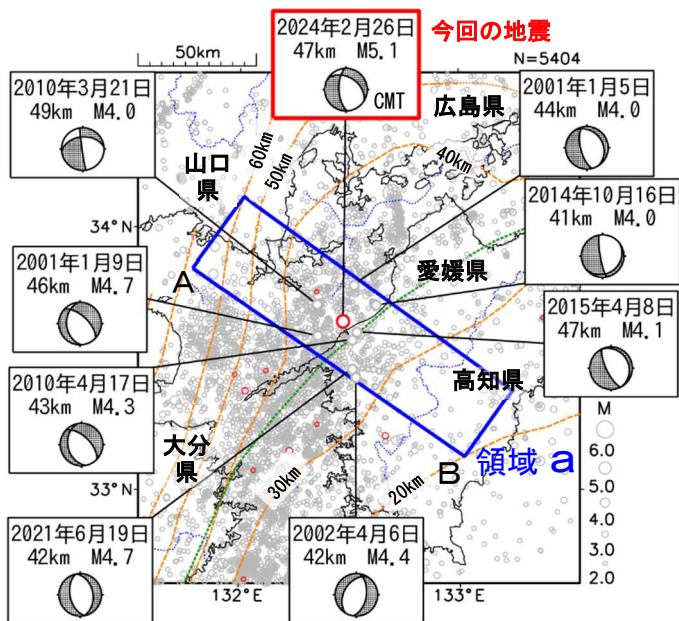


図2 震央分布図

(1997年10月1日～2024年2月27日、深さ0～100km、M≥2.0)

※2024年2月1日以降の地震を赤色で表示
 ※緑色の破線は南海トラフ巨大地震の想定震源域の北限

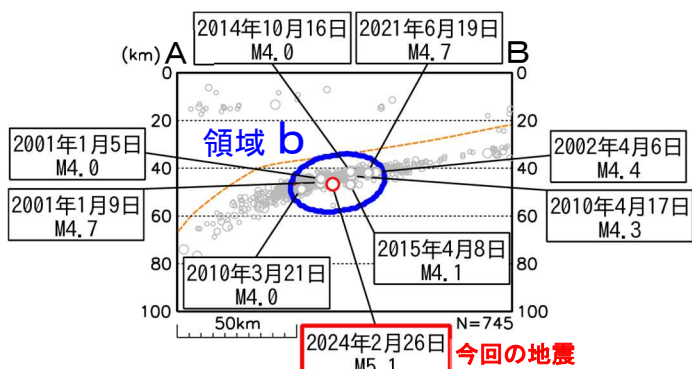


図3 領域a内のA-B断面図

※橙色の破線は今回の地震の震央付近を通る北西—南東断面でのプレート上面形状

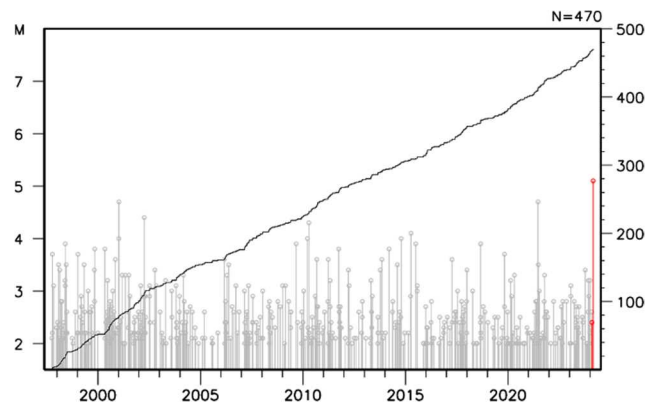


図4 図3の領域b内の規模別地震活動経過図及び回数積算図

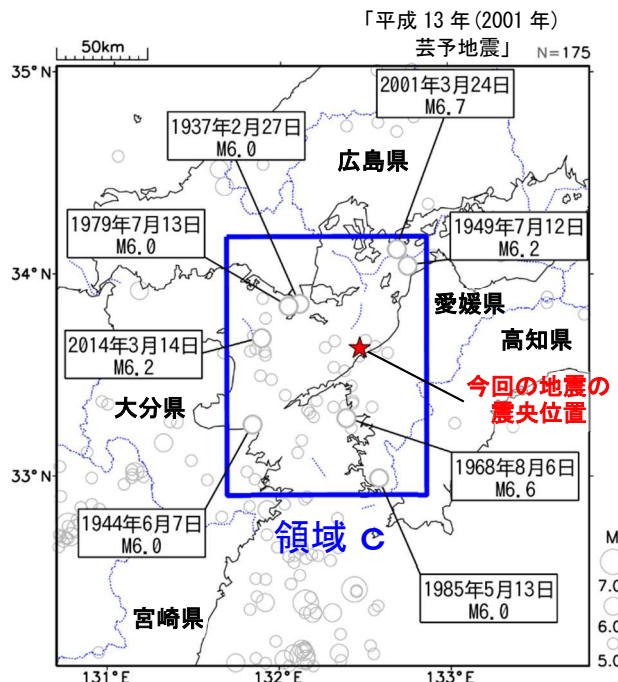


図5 震央分布図

(1919年1月～2024年2月27日、深さ0～100km、M≥5.0)

図2・図3中の橙色の破線は Hirose et al. (2008)、Baba et al. (2002)のフィリピン海プレート上面形状

※本資料は2024年2月27日分までの震源データを利用して作成しています。
 ※これらの震源データは暫定震源を含んでおり、再調査された後に修正されることがあります。